

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 なでしこ

公表日 年 月 日

利用児童数 年 月 日 回収数

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1		1	・広すぎず、狭すぎず、活動しやすいお部屋だと思いました。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	2		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	2		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10			1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10			1	・子どもの楽しめそうな内容をいつも行って下さると感じます。ありがたい限りです。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10			1		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	2		1		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1		1		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1		3	・本人からは、名前等出ないが、ファイルや面談等で、交流している様子が分かりました。	
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11				・面談で、とても丁寧に説明して下さいました。ありがとうございます。	
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9	1		1	・ファイルで、行った療育内容をとても詳しく記載して下さいただいて嬉しく思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	2				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	1	5		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	3	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7		4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			・本当は、ハナマルにしたいくらいです。 ・「今日は、なでしこ行くの？」と楽しみにしているようで、本当に、いつもよくして頂いて感謝しかありません。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11			・生活に役立つものや、ちょっとした勉強など私もとても興味がある内容で、一度見学に行かせてもらわないと思いつつ、なかなか予定がつかず、申し訳ありません。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1		・いつも良い所や好きなことなど成長に合わせて療育をしてくださってありがとうございます。 ・本人からは、あまり覚えてもらえないのですが、こんなことしたのかな…？と想像するのが楽しいです。 これからもよろしくお願いします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業　なでしこ				
		公表日				
		年　月　日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		・個別と集団で居室を分けており、その居室内もパーティションで区別している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・職員の配置基準は満たしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		・パーティションで区切ったり、絵カードやスケジュールを使ってこどもにも分かりやすく構造化している。	・段差がある場所があるので、今後の改修計画で検討していくようにする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	1	・毎日の清掃や消毒や換気をし、心地よく過ごせるように心がけている。 ・草刈りを定期的に行い、虫の発生に気を付けていく。	・空気清浄機や加湿器が設置されていない。 ・ハチが多く庭木に吊るすハチ取りがあると部屋に入ることも防げると思う。 ・ハチや虫等、網戸があれば入ってこないのでは。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		・必要に応じて、個別での対応が出来るようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・月一回の職員会議を利用して、目標設定や振り返りを行うようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・毎年アンケートを実施し、会議や日々の業務後に情報を共有するようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	・職員会議で発言の機会があり、日常の中でも職員間で話をするようにしている。	職会でもなく、いつ行われているのか分からないです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	・外部評価は受けていない。	・法人内研修とかで評価して改善することも大切だと思います。 ・どこに評価しているか不明 ・現在は実施はないが、今後取り入れていくことも考えていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	2	・毎月のジョブメドレーアカデミーで研修は受けており、それ以外にも研修は受講している。 ・毎月研修を受講してレポートの提出がある。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		・ホームページに公表済み。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	3		・子ども園の先生や保護者等の意見を参考にして、課題を客観的に分析し作成している。 ・本人の良いところを中心に個別支援会議を経て作成している。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・月に一度の会議で、職員全員が共有理解し、子ども達の最善の利益を考慮し、検討されている。 ・事前会議や個別支援会議で全職員で検討している。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・月に一度の職員会議に全職員が参加し、共有され計画に沿った支援がされている。 ・全職員に周知している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		・フォーマルではないが、課題の整理を行っている。	
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		・本人の意向や保護者のニーズを踏まえて、将来必要なスキルの獲得を目指して支援内容を設定している。	

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		・日々の打ち合わせなどで、活動の内容を案を出したり検討を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		・毎月違う内容を立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	3		・子どもが力を発揮できるように環境設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	・日々の終礼で次回の活動内容や役割分担の確認を行っている。	・話す時間がないため、しないといけな い思いながら来ています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・時間がなく振り返りが出来なくても、ケース記録に時系列で具体的な内容を記録するようにしている。 ・日常の中で空いた時間に話し合いを行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		・ケース記録に時系列で具体的な内容を記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		・半年に一回、必ず行っている。	
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。				
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	・児発管が担当し、情報を共有している。	・法人内で、利用児の支援等の意見交換の場があると深い学びにつながると思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1	・いつでも相談出来る環境にはなっている。	・善防子ども園のみで他園との差があると思います。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2	・必要に応じて、助言を受ける関係作りを行っている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		3	・法人内の事業所とは関係作りは出来ている。	・共生社会のところで法人内としての取り組みを知りたいです。 ・法人以外の事業所や子ども園との関係作りを行っていくようにしていく。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	2	・連絡帳やラインで連絡を取り、情報の共有を行っている。	・モニタリングのみの対面で共通理解は厳しいと思います。 ・保護者と顔を合わす機会が少ないため、常には出来ていない。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	・法人内で保護者研修会を実施している。	・保護者の方に療育を見て頂けるように伝えてはいるが、なかなか見学には来られていない。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	2	・法人内の子ども園とは、しっかりと情報の共有と相互理解が出来ている。	・善防子ども園とは出来ているが、他園では出来ていない。 ・他園との関係作りを行っていくようにする。
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3	・必要とあらばいつでも情報共有は出来るようにしている。	・昨年度までの事は分からない。
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				

	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		・ 契約時に必ず行っている。 ・ 問い合わせには適宜対応している。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・ 半年に一度モニタリングを行っている。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		・ 同意が得られない場合は、同意を得られる内容に修正している。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		・ 日々対応している。	・ モニタリングを含め適時出来ている。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		3	・ 法人内で保護者研修会を実施している。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		・ 担当が必要に応じて対応している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	2	・ 日々の連絡帳やラインを使って対応している。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		・ 鍵付きの書庫で保管し、書類の破棄はシュレッダーを使って慎重に行っている。 ・ 守秘義務の順守	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・ 絵カードや筆談の利用。ラインやホワイトボードなどで理解しやすい言葉を用いて説明支援を行っている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3	・ 見学にはいつでも対応できるようにしている。	・ 地域との関りはないと思います。
非常時等の	51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	2	・ 策定実施している。	・ ジョブメドレーアカデミーで研修は受けているが、訓練はしていない。 ・ 保護者へは利用契約の際に話しをしていると大丈夫と思います。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		・ 実施している。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	1	2	・ 契約時やその都度、保護者から報告を受け職員間で共有している。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	1	2	・ 保護者からの情報をもとに対応している。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・ 策定実施している。	

対 応	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	1	・契約時に説明している。	・子どもの安全確保の内容がどこからどこまでの範囲か分らないです。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・報告書を作成し、再発防止に努めている。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		。研修を実施している。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	2	・記載はないが、事前に同意を得ている。 ・職員へは、入職時に話をするようにしている。	・組織的に決定している内容等は入職前に説明がなく分らないです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 無量会 なでしこ		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 25日 ～ 2025年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 10月 25日 ～ 2025年 11月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・遊戯室や近くに公園があり、体を使った遊びや運動など天候に左右されずに行うことが出来る。	・バトンを渡す練習やリレーなど学校で行う運動を少人数でする事で、見通しを持って活動に参加出来るようにしている。	・集団で活動を行っているが、個々のニーズに合わせた支援を行うように気を付けていく。
2	・学校休業日や長期休暇の余暇支援の充実。	・多くの経験や体験が積めるように外出先や工場見学など内容が重ならないように気を付けている。	・子どもたちが興味を持てるもの、楽しめるものを取り入れることが出来るようにしていく。 ・マンネリにならないようにしていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の専門性の向上	・様々な障害特性の理解が追い付いていない	・今年度より、オンラインでの研修が始まった事で、研修体制が整ってきている。研修後は実践におけるスキルの向上が求められる。
2	・保護者に対する支援や情報提供	・月に一度、状況報告書を作成し送付している。児童の様子をお知らせする事は出来ているが、保護者が本当に知りたい情報を提供出来ているか不明である。	・保護者研修会等を実施し、保護者のニーズに応えることが出来るようにしていく。
3			